

【放課後くらぶつばさ】 令和3年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

※ 回答5名/職員5名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	5	0	クールダウンスペースがないためパーテーションや仕切りを活用。また散歩に出たり、卓球バレーなどの集団遊びをして限られたスペースで配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	・個別支援に配慮している。 ・いずれ男性職員や専門知識を持った職員の配置も検討していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	0	・段差はあるが、配慮が必要な方には付き添いをしている。 ・天井カバーを設置した。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	5	0	0	県からの指導なども取り入れ、書面化に努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	必要に応じてアンケートを実施した。今後も継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	ホームページの見やすさに努める
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	0	事業所便りで第三者に周知した。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	コロナ禍のため、オンライン研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者アンケートに回答いただき、ニーズの把握に努めた。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0	個々に応じたアセスメントの内容をその都度、考えていく必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	日々のミーティングや会議の中で活動プログラムを考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	固定化が必要な部分もある為、話し合いを重ね、状況に応じて組み立てている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	長期休暇時は、人数や滞在時間の違いがあるため、支援内容や課題を事前に設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	職員間で情報を共有しながら、特性に配慮しながら作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	支援時間前に、送迎・担当・連絡事項・その日の活動内容を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	緊急性がある場合等、その日のうちに情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	ケース記録に変化や気づきをしっかり残すよう努める。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	・モニタリングに力を入れている。 ・職員間で課題を共有して目標が達成できるよう考えていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	2	0	・継続的に読み合わせをしていく必要がある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が	5	0	0	・児発管もしくは担当が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	・モニタリングシートを共有している。 ・送迎時に様子を聞き取り、その日の支援につなげている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	0	基本的に受け入れはしていないが、利用中に医療ケア児になった場合は、相談員を通し連携を図っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	・新規児童に関し、事前に情報をいただいた。 ・つながりをつくり、今後も情報共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	0	相談員を通し、必要に応じてモニタリングシート等を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	オンライン等を利用し、研修の機会を設けていく
	26	公共の場等で、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	0	図書館や体育館に出かけている。順番を守るなど、社会でのルールを学ぶ場を提供している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0	・協議会へ参加した。 ・社協会の卓球バレー教室に参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	連絡や送迎時に連絡のやりとりを行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	0	今後、研修会等に参加して知識をつけていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	わかりやすく説明し、問い合わせ等があれば随時対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	保護者の悩みに向き合い、事業所としてできることは何かを考えていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	0	コロナ禍により、書面で代用した。感染状況が落ち着いたら対面式での実施を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	保護者の皆様の思いをよく聞き、今後も丁寧に対応していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	おたよりを通じ、活動やイベントのおしらせを連絡している。今後も継続していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	鍵付き金庫への保管、シュレッダーの活用、個人情報についての同意書の署名をいただいている。今後も十分に配慮する。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	伝達の仕方を工夫するなど、個性に応じて関わっている。

	37	地域住民と交流する等、開かれた事業運営を図っているか	2	3	0	ボランティアの方にイベントに来ていただくなど、長期休暇毎に交流を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	・適宜配布している。 ・ホームページに載せ、いつでも閲覧にしておく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	・避難訓練ウィークを年2回行った。 ・適宜設定を変化させ、今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	研修を重ね、認識を深めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	サービス利用計画に沿って、必要があれば記載、了承を得て支援していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	新学期配布の現況シートにて聞き取り。アレルギーのある方へ十分に配慮する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	職員間で定期的に更新、読み合わせ、事故防止に努めていく。